

平成21年度予算並びに新行財政
構造改革推進にあたっての要望書

平成20年12月

(社) 兵庫県林業会議
兵庫県森林組合連合会
兵庫県木材業協同組合連合会
(社) 兵庫県治山林道協会
兵庫県林業協会

県土の3分の2を占める森林は、県土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など多様な機能を有しており、私たち県民が安全に安心して生活していく上で重要な役割を果たしています。

県では、『新ひょうごの森づくり』を進めるとともに、平成18年度からは県民緑税を導入し『災害に強い森づくり』を展開されるなど積極的な取組に感謝を申し上げる次第です。

また、県内人工林資源も成熟期を迎えつつあることから、県産木材の需要拡大に向け、県産木材供給センターの整備が始まり期待しているところです。

一方、震災からの復旧・復興等の影響も受け、県財政が非常に悪化してきていることから、新行財政構造改革推進方策を樹立され、組織の再編、事業の見直し等を行われるなど、大変厳しい方向性が示されているところです。

今、地球温暖化防止に果たす森林の役割が大きく見直され、低炭素社会に向けた森林資源の整備・活用と林業・山村の再生が、重要な課題となってきております。

これらの情勢を踏まえ、森林の計画的・持続的な保全・整備とそのための組織体制の確保を図るため、次の事項について、強く要望します。

記

- 1 『県民緑税』を平成23年度以降も継続実施するとともに、制度の充実強化を図り、新たなひょうごの森づくり構想を検討すること
- 2 県内人工林における林内路網整備と高性能林業機械による森林施業の効率化、集約化などにより、安定的な素材生産・供給体制の整備を図ること
- 3 県産木材の利用が、健全な林業生産活動の循環と地球温暖化防止にも貢献することから、「県産木材供給センター」の計画的整備とともに、県産木材の需要拡大を図ること

- 4 近年、局地的な集中豪雨や大規模な地震の発生等、自然災害が多発する傾向にあることから、山地災害を防止し、県民の安全・安心な生活を確保するため、効果的、効率的な治山対策を積極的に推進すること
- 5 森林・林業の維持発展に大きな力を発揮してきた龍野農林振興事務所並びに但馬高原林道建設事務所が新組織に統合されるにあたり、森林所有者をはじめ森林組合、県民等への行政サービスが低下しないよう林業職員の確保と新体制の充実強化を図るとともに、森林整備や林業生産の中核となる林道事業の拡充強化と林道維持管理体制の確保に努めること

平成20年12月1日

(社) 兵庫県林業会議 会 長 谷 洋 一

兵庫県森林組合連合会 会 長 谷 洋 一

兵庫県木材業協同組合連合会 会 長 野 村 昌 弘

(社) 兵庫県治山林道協会 会 長 谷 洋 一

兵庫県林業協会 会 長 石 堂 則 本